

施策評価シート【分野別施策】

施策名		関係部
1 -	教育環境を充実する	教育総務部、学校教育部、社会教育部

所管事業に関連する成果指標

指標名	単位	改訂計画 策定時	実績値				5年度 目標値
			2年度	3年度	4年度	5年度	
学校に行くのは楽しいと回答した児童生徒の割合	小学校	%	85.9	-	83.7		87.2
	中学校	%	79.5	-	81.3		82.8
小・中学校のトイレの洋式化率	%		43.8	46.7	50.4		63.3

令和2年度は、全国学力・学習状況調査が実施されなかったため、実績値はありません。

関連事業

小学校施設管理事業 小学校大規模改修事業 中学校施設管理事業 中学校大規模改修事業 相模小学校移転整備事業 中学校完全給食準備事業 高等学校等修学支援事業 児童生徒就学援助事業 特別支援教育就学奨励援助事業 サン・サンスタッフ派遣事業 通学路安全対策事業 学校安全対策推進事業 スクールカウンセラー派遣事業 教育相談事業 介助員派遣事業 適応指導教室事業 就学相談・指導事業 スクールソーシャルワーカー派遣事業 通級指導教室運営事業 地域教育力ネットワーク推進事業

決算額

	2年度	3年度	4年度	5年度
事業費(千円)	1,631,685	4,403,245		
執行率(%)	59.66	93.10		

施策の推進に向けた主な取組の「成果」

「子どもの安心・安全な通学環境づくり」

地域において安全で安心して通学できる環境づくりを進めている団体に活動費を助成するとともに、通学路上の危険個所の点検等を関係機関と合同で実施したほか、市道の「文」マークの緊急補修等の取組を行うことで児童・生徒の通学の安全確保を図りました。

「安全で安心して過ごせる学校づくりの推進」

各校(園)における危機管理マニュアルの整備や教職員のキャリアステージに応じた学校安全の研修を行うとともに、学校安全に向けた提言について、関係課等との連携を図り確実に推進することで、園児・児童・生徒の安全を確保することができました。

「地域教育力ネットワーク」

新型コロナウイルス感染症の影響で自主事業の実施が8つの地区に留まりましたが、旭陵学区の防災キャンプでは、従来の対面開催ではなく動画配信にするなど、コロナ危機でも活動を止めない工夫が見られました。また、パトロールや子どもサポート看板設置など地域全体で子どもたちを見守る活動を各地区で進めました。

「教育相談体制や学習環境のためのマンパワー」

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの派遣により、問題行動等の未然防止や課題の解決を図り、児童・生徒が安心して学校生活を送ることができました。介助員や医療的ケア学校看護師の派遣により、障がいのある児童・生徒が学校生活を円滑に送ることができました。

サン・サンスタッフ（学習支援補助員）を全小・中学校へ派遣し、学習・生活面で適正かつ細やかな支援を行いました。

サン・サンスタッフ（学校司書）は、平成24年度から全小・中学校へ配置を行い、学習活動や読書活動の充実と学校図書館の整備及び充実を図りました。

「経済的支援（就学援助）に関する取組」

平塚市立小・中学校及び市内在住で神奈川県立中等教育学校に通う全児童生徒の保護者に対し制度の周知をし、申請に基づき認定審査を行いました。認定した保護者に就学援助費を支給し、児童生徒が安定した義務教育を受けることができました。

「学校施設の維持管理」

学校施設の長寿命化（目標耐用年数76年）のため、小学校1校、中学校1校の校舎大規模改修工事を実施しました。また、安全な学校運営のため、学校施設の点検を行い、必要な改修・修繕を実施しました。

「中学校の給食運営」

中学校完全給食実施に向けて、新たな学校給食センターの整備・運営の取組を進めるとともに、中学校施設の改修のための設計を進めました。

施策を推進する上での「課題」

「子どもの安心・安全な通学環境づくり」
児童・生徒の登下校時に地域団体の見守り活動等が円滑に実施できるよう、学校・地域団体等と連携して事業を推進するとともに、体系的に通学路の危険箇所の対策を講じ安全確保を図る必要があります。

課題解決を図るための「取組方針」

「子どもの安心・安全な通学環境づくり」
地域、学校との連携により、児童・生徒が安全で安心して通学できる環境づくりを進めている団体を支援するとともに、関係機関と連携し合同点検等を実施し通学路の環境を整えます。

「安全で安心して過ごせる学校づくりの推進」

各校（園）が組織的な安全管理の充実を図ることで、園児・児童・生徒が安全で安心して過ごせる体制づくりを推進するとともに学校安全に向けた提言の取組を着実に推進する必要があります。

「地域教育力ネットワーク」

地域全体で子どもたちの成長を支えるため、コロナ危機においても安心・安全に実施できる事業について、検討していく必要があります。

「教育相談体制や学習環境のためのマンパワー」

年々増加する様々な相談に対応する体制を整える必要があります。

様々な支援を必要とする子どもは年々増えているので、サン・サンスタッフ（学習支援補助員）の派遣の重要性、必要性は高まっています。

サン・サンスタッフ（学校司書）については、児童生徒の読書への興味・関心をより高め、学習とも連携させていくことが課題であり、児童生徒が本に触れる機会を増やしていく必要があります。

「経済的支援（就学援助）に関する取組」
児童生徒が安定した義務教育を受けられるよう、本事業を実施していく必要があります。

「安全で安心して過ごせる学校づくりの推進」

学校安全の研修や学校安全に向けた提言の取組の充実を図るとともに、各校（園）が組織的に学校安全の取組を推進することで、園児・児童・生徒が安全で安心して過ごせる体制づくりを推進します。

「地域教育力ネットワーク」

子どもたちの「生きる力」を育むために、より有効な体験活動が実施できるよう、協議会等で情報の共有を図るとともに意見交換を行い、活動内容の充実を目指します。

「教育相談体制や学習環境のためのマンパワー」

関係機関との連携を強化するとともに、様々な相談に対応できる相談・支援体制の充実を図ります。

子どもたちが安心して学校生活を送れる様々な支援を必要とする児童・生徒に適切かつきめ細かな対応を図るために、サン・サンスタッフ（学習支援補助員）を必要に応じて増員していきます。

学校図書館の環境整備、貸し出し体制の充実により、児童生徒の読書への関心、学習に関する図書のかかわりを深めます。また、サン・サンスタッフ（学校司書）の全校配置を継続することで、児童生徒の読書意欲を高める取組を展開します。

「経済的支援（就学援助）に関する取組」
国が示す要保護児童生徒援助費補助の制度改正に注視し、児童生徒が安定して義務教育を受けられるよう、引き続き適切な援助を行います。

「学校施設の維持管理」

学校施設の老朽化や児童数・生徒数の減少を踏まえ、中・長期的な視点から改修を行う必要があります。

「中学校の給食運営」

中学校完全給食実施に当たっては、各中学校の昼食時間の見直し、安心・安全かつ効率的な給食提供の検討が必要です。

「学校施設の維持管理」

学校施設の適切な維持管理を行うとともに、大規模改修工事等を計画的に実施し、快適な教育環境への改善を図ります。

「中学校の給食運営」

中学校においては、給食開始に伴う学校生活への影響が最小限となるよう、学校の意見を聞きながら、必要な支援及び施設整備を行います。